



職種垣根を越えた協同チームで 初診から退院までトータルサポート 他のセンターとの連携も強化

循環器医師や心臓血管外科、看護師や薬剤師など多職種間のネットワークで構築される循環器センター。その強みを石原先生にうかがった。

看護師が重要な役割を担い 患者のコーディネーターに

低侵襲かつ上質な心臓カテーテル治療を行う循環器内科、冠動脈バイパスなど外科的治療を行う心臓血管外科。この2つの診療科がチームを組んで循環器疾患に取組む循環器センターだが、中心になって活躍しているのは医師ではなく看護師だと石原先生は話す。「循環器センターでは医師をはじめ、薬の管理をする薬剤師やリハビリを行うリハビリスタッフなどが連携を図り、職種の枠を越えて診療に励んでいます。なかでも看護師のサポート体制は非常に強く、患者さんにとって一番重要なポイントであることは間違いないでしょう。看護師は患者さんをより身近に感じながらケアに努めているため、症状はもちろんご家族や社会的なことまで関わられますし、また医学的知識もあるため、診察の変更時には最適な方法を瞬時に判断することができます。看護師は患者さんにより良い医療を提供するコーディネーターだと考えています」。

様々なセンターとの連携を図り 安心かつスムーズな診療に努める

急性期疾患については、救急スタッフと連携し24時間365日対応。ハートコールを活用し循環器医師が直接、地域の先生方や救急隊からの要請に応える。また院内でもセンター同士のスムーズな連携で時間のロスを軽減し、迅速かつ最適な治療に注力している。「当院は臓器別にセンターを設置していますが複数の疾患を持つ場合、何が最優先かをセンター同士で情報共有を行ない、優先する検査・治療を明確にします」。スタッフの協同体制は初診から退院まで続く。このような総合的サポートは患者にとって非常に安心だ。



1.患者のトータルコーディネートを担う看護師をはじめ、多職種のスタッフでチーム医療に取り組む循環器センター。 2.カテーテル治療では橈骨動脈から検査・治療を行い、患者の負担軽減に努める。



カテーテル治療では全身の血管を対象に実施。また不整脈の診断や治療にも対応している。

社会医療法人 同仁会 耳原総合病院

石原 昭三 循環器センター長・副病院長

hospital data

社会医療法人同仁会 耳原総合病院 / TEL:072-241-0501 堺市堺区協和町4-465 <http://www.mimihara.or.jp/sogo/>

▶ 医療詳細ページ有り ●●●P